

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス しきさい			公表日	令和8年3月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2名	3名	パーティション等を利用し、個別及び集団活動それぞれに対応した環境の整備を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1名	4名	支援の充実を図るため保育士、児童指導員を増員したいです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2名	3名	手すりの設置等、安全面には配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5名		サービス提供後は、施設内清掃を都度行うようにしています。また、発達支援室の有効活用が出来るよう、椅子テーブルは容易に移動可能なものを使用しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5名		その環境になっていると思います。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4名	1名	業務改善に向けての職員全員の意識は確認出来ています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4名	1名	定期的の実施し、改善に繋げたいです。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4名	1名	機会は設けており、出来るだけ業務改善に繋げるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5名	外部評価は受けておりませんので、検討したいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3名	2名	外部研修の機会をなるべく確保するよう努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5名		ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4名	1名	アセスメントを適切に行い、利用児童さん、保護者様のニーズに沿った計画をこれからも作成したいです。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4名	1名	全職員共通理解の下で行われていると思います。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4名	1名	念頭に置きながら努めていますが、活動の流れの中で十分に組み合わせていない時もあり、支援の工夫も必要です。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4名	1名	出来るだけ一方に捉われないように確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4名	1名	保護者様に分かりやすいよう、なるべく具体的内容を設定するよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5名		職員間で確認を行うようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4名	1名	職員間で日々努力しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3名	2名	個人の特性に応じ、個別、集団活動のバランスを考慮するようにしています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4名	1名	業務前に確認するようにしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4名	1名	翌日業務開始前に気付き点を確認するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5名		児童さんの成長へ繋がりそうな様子を特に記載するようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5名		定期的にモニタリングを行い、成長に応じ見直しを行うようにしています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4名	1名	管理者、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2名	3名	今後、必要に応じて連携体制を整えたいです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2名	3名	出来るだけ情報共有、相互理解を図るようにしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3名	2名	出来るだけ情報共有、相互理解を図るようにしています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1名	4名	出来るだけ機会を設けるようにしたいです。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3名	2名	公共の公園を利用する機会が多く、そこでは地域の他のこども達と仲良く活動する場面が見られると良いと思っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5名		その日のお子さんの様子は、連絡ノートやお帰りの際に保護者様へ直接お伝えするようにしています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2名	3名	保護者様へは、日々の接しの中で対応させていただいています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5名		行っていると思います。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5名		なるべく機会を設け、作成に取り組んでいます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5名		保護者様へは、項目毎に説明するようにし、同意を得るようにしています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5名		相談等には出来る限り対応していると思います。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5名	今後、保護者様同士が集える機会を作りたいと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		5名	相談、申入れ等については、出来る限り迅速に対応するようにしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		5名	活動内容等を掲載した、おたよりを保護者様に配布しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		5名	留意していると思います。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		5名	お母様、お父様の立場になって、配慮するようにしています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5名	機会があれば今後積極的に活動を行ってまいります。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4名	1名
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5名		消防訓練は、令和7年3月31日、令和7年9月26日の2回実施しました。自然災害に対する確認は、令和7年9月26日に消防訓練と合わせて実施しました。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5名		出来る限り確認を行い、その児童さんには配慮するようにしています。
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5名		保護者様、保育園様、相談支援事業所様等からの情報に基づき対応するようにしています。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5名		安全確認は都度行い、安全への配慮をしています。
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4名	1名	安全計画に基づく取組内容をご家族様へ周知出来るようにしたいです。
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4名	1名	職員間で共有するようにしています。今後も危険予知への役立つものとしていきたいです。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5名		その報道は最近多く、研修機会を確保するようにしています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5名		現在に至るまで、対象となる利用児童さんはおりませんが、そのような場合は適切に対応したいと思います。	